

令和6年度下期「電力利用効率化見学会」を開催しました

11月7日(木)に佐賀地区で開催、20社34名に参加いただきました。

【九州セキスイハイム工業株式会社さま】（午前）

鳥栖市にある同工場では、住宅（構造材・パネル・内部配線等を組み付けたユニット）を製造しています。

企業及び工場の概要及び製造工程の説明後、工場内を移動し、生産ラインにおける省エネルギーの取組み等を視察いたしました。最後に、東京本社とのリモート会議で省エネルギーに関する質疑応答を行っていただきました。

工程の自動化、部材搬送ロボットの導入、照明のLED化等、省エネと生産効率向上を両立する取組み、また環境保全の取組み（廃棄物100%再資源化）をご説明いただきました。



【味の素株式会社九州事業所さま】（午後）

佐賀市諸富町にある同事業所では、うま味調味料などの原料となるアミノ酸を生産しています。

会社及び工場の沿革、製造工程の概要等を説明いただいた後、先方の見学バスに搭乗して工場内の設備を案内・説明いただき、最後に省エネルギー取組みの説明と質疑応答を行っていただきました。

電力だけでなく蒸気等も含めたエネルギー使用量削減の取組み（高効率機器の導入、蒸気漏れ対策、保温対策、空調機室外機の清掃等）にきめ細かく継続して取り組まれていること、また温室効果ガス排出量削減に向けて重油からLNGへの燃料転換に取り組まれていることをご説明いただきました。



【見学会参加者のコメント】

「他社の設備や省エネルギー・非化石エネルギー転換の取組みについて現地で現物を見ることができ、参考になった。自社の省エネ活動に活かしていきたい」といった声を参加者からいただきました。

省エネに特効薬はなく、「地道な取組みの積み重ね」は非常に重要です。

また、自社だけでの取組みには限界があるため、他事業者等による“新たな視点”を取り入れることも重要になってきています。

今後も賛助会員の皆さまの省エネ活動の参考となるような見学会を実施してまいります。